会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	4361
		決裁期日	令和7年3月31日
名 称	令和6年度第3回安平町地域公共交通会議（兼 安平町地域公共交通協議会）		
日 時	令和7年3月5日（火） 午前・ 午後 4時00分～5時00分		
場 所	安平町役場 総合庁舎（大会議室）		
出席者	<p>[委 員] 13名出席（うち5名リモート出席） [オブザーバー] 株式会社CICACより1名 [事務局] 政策推進課 山口参事、高橋課長補佐、主事田中</p>		
会議概要	<p>【1 開会、会長挨拶】 ＊委員17名中、過半数の出席を確認し会議が成立することを宣言。 ＊本日の会議は、令和7年4月1日の各種改正事項についてご審議いただく議事が中心。一つ目は、循環バスの自由乗降区間を2つ増やすもの。二つ目は、デマンドバス停留所の1つ追加。三つ目は、先ほど株式会社CICACと連携協定を結び、デマンドバスとハイヤーの一元予約・管理などが可能となる「MITT（ミット）」という画期的なシステムを、安平版として共同開発、実証事業等を進めていくことについて。 ＊早来地区のハイヤー空白対策として地域おこし協力隊を2名配置し、その1名が年明けに病気退職してしまったが、その後、後任者が内定し、4月に着任、5月までに二種免許を取得、6月には週6日営業が再開できるであろう見込みが立った。早来地区のハイヤー営業が安定的に進むよう、引き続き、委員の皆さまには、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>【2 令和6年度第2回会議（書面会議）における委員意見とその対応について（報告）】 ＊地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価、資料P3-4に沿って報告。 ＊循環バスにおける自由乗降区間実証調査について対応を提案。議事(2)にて詳しく説明を行う。 ＊早来地区におけるハイヤー事業に対する意見について、令和7年2月に協力隊1名が病気退職となったが、その後補充者が内定し、令和7年6月までに週6日営業（月～土曜の8時30分～18時50分）を再開できる見込みとなった旨報告。</p> <p>【3 議事(2)「循環バスにおける自由乗降区間実証調査」に対する意見】 ＊P6～10に沿って説明。 ＊令和7年1月6日～1月31日（4週間・19営業日）実証調査の結果を踏まえ、青葉豊栄幹線の一部（青葉会館付近～灯葉舎さん付近の直線区間）と追分安平線の一部（花若入口バス停～追分南公営住宅付近の直線区間）の2区間を自由乗降区間として増設を提案。（質疑なし）</p> <p>【4 議事(3)デマンドバスにおける新たな取組みについて】 ＊P11に沿って説明。 ＊委員より、循環バスにおいて「追分郵便局前に停留所を」とのご意見をいただいていたが、郵便局へは同一地区に居住する住民の移動（例：乗降とも追分地区）であると推定されることから、その役割を担うデマンドバスでの対応をデマンドバス運行協議</p>		

会で協議したところ、デマンドバス停留所として追加する意志決定したもの。
*承認。

【3 その他】

*安平町と株式会社CICAC（本社：東京都渋谷区、支社及び業務拠点：群馬県桐生市、代表取締役：今氏一路、以下「シカク」）は、令和7年3月5日に「持続可能な地域公共交通の推進に向けた連携協定」を締結した旨報告。

*P12に沿い、オブザーバー株式会社CICACより配車システムMITTの概要説明。

*デマンドバスもハイヤーも、そしてライドシェアも、MITTひとつで電話でもスマホのLINEからでも乗車予約が可能になる。有人でもAIによる無人でも配車が可能になるなど、交通事業者における業務の効率化や収支改善が期待される。

委員	携帯電話を持たないお年寄り、出先のスーパーや病院からハイヤーやデマンドバスへの連絡をしている。そういった方はこのシステムを使えるか。また、スーパーなどの事業者が電話を貸すよう呼び掛けてもらえないか。
事務局	電話での配車も可能である。普段電話を持たない方にも使いやすくなるよう、自動音声の開発を含めて今後検討していく。また、事業者が電話をお借りするのは事業者の方の善意によるものであり町として呼びかけることは難しい。

委員	MITTはアプリをインストールする必要がなく、スマホ役場などのようにLINEからアクセスできるので、お年寄りでも挑戦しやすいと思われる。
事務局	電話からも、LINEからの配車にも対応できるため、幅広い方に使いやすいシステムだと感じている。

【閉会】

以上、終了。（17：00）